

平成 30 年度
12 月補正予算主要事業の概要
(事業別説明資料)



目 次

(総務部)

新規 飛騨市役所防災対策室の整備	1
-------------------------	---

(総務部・環境水道部)

新規 停電時危機管理体制の強化	2
------------------------	---

(企画部)

新規 「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」開館イベントの開催	3
------------------------------------	---

拡充 NHK 連続テレビ小説「さくら」パネル展の開催	4
-----------------------------------	---

(神岡振興事務所)

新規 高原川ミズベリング事業の基盤整備	5
----------------------------	---

(市民福祉部)

新規 複合児童福祉施設の整備（建築工事・施工監理等）	6
-----------------------------------	---

新規 3歳児健診における眼科検査体制の充実	7
------------------------------	---

(農林部)

新規 農業用ハウスの災害復旧支援	8
-------------------------	---

(商工観光部)

新規 ユニバーサルベッドを備えた公共トイレの整備支援	9
-----------------------------------	---

新規 古川祭屋台蔵巡りの仕組みづくり	10
---------------------------	----

新規 飛騨市役所防災対策室の整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
22,300	防災基金	工事請負費
	22,300	22,300

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

平成30年7月の豪雨災害では、飛騨市にとって平成16年10月台風23号以来の大規模な避難勧告等を発令しました。

この際、本庁舎2階の総務課執務室に災害対策本部を設置し、その対応にあたりましたが、各部局との調整や情報収集、広報対応等について、常設の設備を備えた専用室が必要であるということが、今回の対応の中でわかったところです。

このことから、市では災害時に迅速な対応ができる防災対策室の整備が急務と判断し、本庁舎2階の一部を改修して防災対策室を整備します。

3 事業概要

市役所本庁舎2階の既存会議室を改修し、災害情報の収集・分析、各部局との調整を行う作業室、災害対策本部会議を開き災害対応の意志決定を行う会議室を新設し、あわせて、防災対策室の運営に必要な電話設備、各振興事務所等とTV会議を行うためのLAN回線設備、プロジェクター、停電時に電源車による電源供給を受けるための設備を整備します。なお、通常時は事務会議室として使用します。

※供用開始予定：平成31年6月



(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 11 防災諸費	
所 属	総務部危機管理課 TEL0577-62-8902	予算書	P.17

新規 停電時危機管理体制の強化

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,700	緊防債 2,100 一般財源 1,600	委託料 3,200 備品購入費 500
(現計予算 0)		

2 事業背景・目的

平成30年9月の台風21号では、市内の広範囲に渡り停電が発生し、長いところでは約1週間に渡って停電するなど、市民生活に大きな打撃を与えました。市有施設においても、飛騨市リサイクルセンターでは計量器が利用できず一時的に受入をストップする事態も発生しました。

これまで、大きな自然災害時には、災害対策本部並びに河合、宮川、神岡に各支部を設置し、市全域に渡り迅速な情報収集や避難情報発信等を行ってきましたが、市役所本庁舎、宮川及び神岡振興事務所には一般電源用の自家発電装置が常設されておらず、河合振興事務所でも必要な場所に給電されていないことから、停電発生時の危機管理体制が脆弱な状況です。

そこで、災害による停電発生時の非常用電源設備の設置と既設電源回路の改修等について調査を行い、本庁及び各振興事務所における被災情報の収集や避難情報の発信等、必要最低限の災害対策本部機能を継続運営できる体制を整備していきます。

3 事業概要

① 庁舎非常用電源設備設計委託 (3,200千円)

本庁舎及び各振興事務所における防災対策室の照明、コンセント、サーバー機器等への給電を目的とした非常用自家発電装置の設置または既設電源回路の改修等について調査・検討の上、整備に向けた実施設計を行います。

② 飛騨市リサイクルセンター発電機購入 (500千円)

飛騨市リサイクルセンターにおいて、停電中でも受入ができるよう、計量器を動かせる必要最低限の電力を確保するため、発電機を購入します。



(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 5 財産管理費	
所 属	総務部管財課 Tn0577-73-3741	予算書	P. 16
(款) 4 衛生費	(項) 2 清掃費	(目) 2 じん荼処理費	
所 属	環境水道部環境課 Tn0577-73-7482	予算書	P. 25

新規 「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」開館イベントの開催

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
979	一般財源	979
		謝礼・費用弁償 350
		消耗品費 300
		その他 329
(現計予算 0)		

2 事業背景・目的

宇宙物理学研究を紹介する展示施設「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」については、平成29年度より整備を開始し、平成31年3月27日のオープンに向けて現在準備を進めているところです。

そこで、オープン当日には、これまで展示施設の整備にご協力いただいた東京大学宇宙線研究所の梶田隆章所長を始めとする研究者の皆様や、整備に際しご寄付いただいた企業様、地元住民の皆様をご招待してオープニングセレモニーを開催します。あわせて、オープン記念講演会を開催し、市民の皆様には科学の楽しさを知っていただくための機会を作ります。

3 事業概要

① オープニングセレモニーの開催 (629 千円)

道の駅「宙ドーム・神岡」において、関係者の皆様をご招待し、オープニングセレモニー及び内覧会を開催します。

日 程：平成 31 年 3 月 27 日 (水)

② 記念講演会の開催 (350 千円)

オープン記念として、宇宙等科学に関連する講演会を開催します。

日 程：同日の夜間

場 所：神岡町公民館



(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課		Tel.0577-62-8904	予算書	P.16~17

【拡充】 NHK連続テレビ小説「さくら」パネル展の開催

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
536	一般財源	536
		委託料 108
		施設借上料 390
		その他 38
(現計予算 3,100)		

2 事業背景・目的

市では、映画やドラマなどのロケ地を訪れ風景や食を楽しみ、人々のおもてなしに触れることで、その地域のファンになってもらう「ロケツーリズム」に注目し、ロケ誘致に向けた事業を推進しています。

その一環として、古川町の三嶋和ろうそく店様を舞台に制作され、平成14年に放送されたNHK連続テレビ小説「さくら」の映像コンテンツの再活用を図り、地元の方々に懐かしくご覧いただくことはもとより、課題である観光客の市内滞在時間延伸を図ります。

3 事業概要

NHK連続テレビ小説「さくら」の映像を活用した回顧パネル展を開催します。

舞台となった場面のシーン写真とともに、出演者からのメッセージ、当時の台本やロケで使った備品などを展示する予定です。あわせて、番組関連映像を上映し会場全体の雰囲気づくりを行うことで、放送当時の懐かしさを体感していただきます。

開催期間：平成31年3月15日（金）～平成31年8月31日（土）※定休日なし

開催場所：飛騨市古川町市街地

営業時間：午前9時～午後4時

入場料：無料

※今回は、開催予定場所の古川町市街地の空き家を活用した民間賃貸物件との調整が整ったことから施設使用料ほか管理費を計上するものです。



(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課		Tel.0577-62-8904	予算書	P.16～17

新規 高原川ミズベリング事業の基盤整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,300	一般財源	1,300 工事請負費 1,300

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

平成 30 年 6 月、神岡町市街地を流れる高原川の一部が「都市・地域再生等利用区域」に県内で初めて指定され、これまで公共性のあるものに限定されていた河川敷の利用が、新たに民間事業者による営利活動にも認められるようになったことから、古川土木事務所により河川敷への車両の進入路などの整備が進められてきたところです。

これを受けて市では、平成 31 年度には、高原川で営業活動等を行う事業者（施設利用者）を新たに公募で選定する予定としており、来春からの活用を見据えて、河川敷で容易に飲食の出店ができるようにするために必要な設備を整備します。

【ミズベリングとは】

水辺活用を進める企業と市民、行政が 1 つの輪となり、街と水辺が一体となった地域づくりを進めていくプロジェクトで、今後も河川敷の利活用を積極的に推進しながら、地域の魅力と活力の向上を図っていくものです。

3 事業概要

高原川の船津座付近河川敷において、個別給水設備、供給電源設備の設置工事を行います。

設 置 数：7 箇所
 供用開始予定：平成31年 4 月



区域指定された清流高原川

(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 10 地域振興費	
所 属	神岡振興事務所 TEL0578-82-2250	予算書	P. 17

新規 複合児童福祉施設の整備（建築工事・施工監理等）

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
237,936	合併特例債	151,600	工事請負費	228,622
	負担金	86,000	委託料	9,026
	一般財源	336	水道加入負担金	288
（現計予算 0）				

2 事業背景・目的

神岡町の障がい児福祉サービスは、旭保育園内に併設される児童発達支援事業所「神岡ことばの教室」と、近接する神岡東生涯学習館において飛騨市社会福祉協議会への委託により運営する日中一時支援事業所「なかよしキッズ」の2施設を中心に提供されています。しかし、ことばの教室ではスペース上の制約から個室確保や遊具の移動が困難であり、神岡東生涯学習館の建物は老朽化が著しく耐震性も無いことから早期の環境改善が必要な状況にあります。

このため、両施設を統合した新たな児童福祉施設を整備することで、安全で快適な事業拠点を確保し、効率的な施設運営と利用者の利便性の向上を図ります。

また、施設・人員環境が整った段階では、なかよしキッズの事業内容を発展させ、放課後デイサービス事業所へ移行し、神岡ことばの教室については、地域巡回発達支援事業（訪問型支援を含む）・保育所等訪問支援事業の拠点としていきます。

なお、この事業は、飛騨市社会福祉協議会から一部負担金をいただき整備します。

3 事業概要

建設予定地：飛騨市神岡町殿地内 神岡給食センター隣地

構造：木造2階建 一部平屋鉄骨造

延べ床面積：827.95㎡ ①日中一時支援事業所（なかよしキッズ） 497.85㎡

②障がい児通所支援施設（神岡ことばの教室） 330.10㎡

供用開始予定：平成32年4月

（款）	3 民生費	（項）	2 児童福祉費	（目）	3 ことばの教室事業費
所 属	市民福祉部障がい福祉課		TEL0577-73-7483	予算書	P.23

新規 3歳児健診における眼科検査体制の充実

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,340	一般財源 1,340	備品購入費 1,340

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

子どもの目の機能は生まれてから発達を続け、6歳までにはほぼ完成すると言われており、3歳児健康診査において強い屈折異常（遠視、近視、乱視）や斜視が見逃された場合、治療が遅れ十分な視力が得られない場合があるため、国から当該検査における視力検査と適切な保健指導が求められています。

現在は、ランドルト環指標を用いた検査を実施していますが、視力のみでの検査となっており、また、目隠しを嫌がられることなどから、実施困難なケースもあります。※1

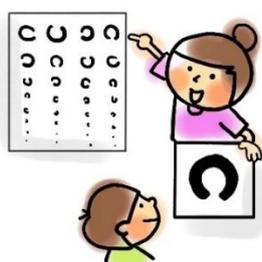
そこで、通常のランドルト環指標を用いた検査に加え、弱視の危険因子となる斜視及び屈折異常（遠視、乱視、近視、不同視、瞳孔不同）を客観的にスクリーニングすることができる検査装置を新たに導入し、屈折異常等の早期発見を図ります。

※1 《参考》実施可能率は3歳0ヶ月児で73.3%と、約4分の1の児の検査が実施困難となっています。

(神田孝子他 保育園における3、4歳児の視力検査、日本公衆衛生雑誌掲載)

3 事業概要

スクリーニングを実施するための「手持ち自動判定機能付きフォトスクリーナー装置」を導入します。これにより、幼児でも、目隠しをすることなく数秒で屈折検査を実施できるようになります。



ランドルト環指標を用いた視力検査



手持ち自動判定機能付きフォトスクリーナー装置
(画像はイメージです)

(款)	4 衛生費	(項)	1 保健衛生費	(目)	4 母子保健費
所 属	市民福祉部市民保健課 Tel.0577-73-2948			予算書	P.25

新規 農業用ハウスの災害復旧支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
13,428	県支出金 10,742 一般財源 2,686	補助金 13,428

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

平成30年9月に接近した台風21号は、各地で甚大な農業被害をもたらし、飛騨市においても雨よけハウスの倒壊や被覆ビニールの破損などを含め約300棟(被害総額16,000千円)の被害がありました。

こうした状況を踏まえ、国では被災農業者が営農意欲を失わず一日も早く経営再建できるように、農業用ハウス等の再建・修繕費用助成の補助率を従来の10分の3から2分の1に引き上げました。

今回、飛騨市においても岐阜県とともに上乘せ助成を行い、被災農業者の早期復旧と営農意欲の維持を図ります。

3 事業概要

○被災農業者向け経営体育成支援事業

[対象者]平成30年9月4日の台風21号により被害を受けた全ての農業者

[支援内容]被災した雨よけハウスの修繕に伴う資材購入費用の一部を助成

[補助率]

農業共済加入者：総事業費の1/2以内(国)+1/2(市)

農業共済未加入者：総事業費の2/5以内(国)+2/5(市)

※いずれの場合も県が市負担の1/2を補助

[対象範囲]雨よけハウスの骨材、被覆材、灌水施設等

[採択要件]復旧後の農業共済等の園芸施設共済への加入等



(款) 6 農林水産業費	(項) 1 農業費	(目) 3 農業振興費	
所 属	農林部農業振興課 TEL0577-73-7466	予算書	P.26

新規 ユニバーサルベッドを備えた公共トイレの整備支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
5,800	一般財源	5,800	補助金	5,800

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

飛騨市は、これまでも観光施設のバリアフリー化やユニバーサルベッドを配備したトイレを整備するなど、障がい児者等、支えが必要な方にも優しい観光地づくりの実現に向け整備をおこなっています。

今年度から、飛騨市障がい福祉課に勤務している重度の障がいがある業務支援職員に、障がい者のためのまち歩き散策マップの作製を依頼し、実際に古川町の市街地散策によるバリア等の調査を行ったところ、重度の身体障がい者にとって入りやすいトイレが市街地の中心部にも必要との提案がありました。

そこで、観光客が特に多く訪れ、まちなかでの集客が予想されるさくら物産館に身体障がい者用トイレを設置し、全ての方に優しい観光地づくりを目指します。

3 事業概要

さくら物産館内に、ユニバーサルベッドを配備した身体障がい者用トイレを新設し、障がい児者等、支えが必要な方にも優しい観光地を目指します。

供用開始予定：平成31年4月

※当該施設の所有者である古川町商工会へ支援をするものです。



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463		予算書	P.28	

新規 古川祭屋台蔵巡りの仕組みづくり

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
2,400	県支出金	1,200	工事請負費	2,000
	一般財源	1,200	印刷製本費	300
			消耗品費	100
(現計予算 0)				

2 事業背景・目的

飛騨市の観光においては、観光客の滞在時間の延長を図り、観光消費額を増加させることが課題となっています。特にユネスコ無形文化遺産に登録された古川祭は、多くの観光客を惹きつける魅力的なコンテンツでありながら、屋台蔵を含め周遊観光に十分に活用できていない状況です。

そこで、古川町内に点在している10箇所の古川祭屋台蔵を活用するため、スタンプ台収納ボックスを屋台蔵前に設置し、周遊できる仕組みを整備します。

観光客の皆さんには、ゲーム感覚で古川町内の各屋台蔵を巡っていただくことで、より広い範囲にわたって古川町内を散策してもらうことができ、より深く魅力を知っていただくことができます。

あわせて、飛騨古川まつり会館と連動した企画も順次計画していくことで、観光客の滞在時間の延長と観光消費額の増加を図ります。

3 事業概要

① 古川祭屋台蔵スタンプ台収納ボックス設置工事 (2,000千円)

屋台蔵との調和や周囲の景観に配慮した箱型屋根付きのスタンプ台収納ボックスを、古川町内の10箇所の屋台蔵に設置します。あわせて、スタンプ収納ボックスにはQRコードを設置し、古川祭関連のWEBサイトとリンクさせ、それぞれの屋台の特徴や古川祭の成り立ちなどを紹介することでより古川祭への興味・関心を高めます。

② 古川祭屋台スタンプラリー台紙とスタンプの作成 (400千円)

各屋台の紋章をかたどったスタンプと、各屋台の特徴などを記載したスタンプラリー台紙を作成します。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463			予算書	P.28